2018 年 7 月 26 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance
フィリップ証券株式会社

ゲンティン・マレーシア（GENM）

2018/12 期には、世界初の 20 世紀フォックスをテーマにしたテーマパークの開園を計画

マレーシア| カジノ、ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK| REUTERS GENM.KL

- 2018/12 期 1Q（1-3 月）は、売上高が前年同期比 7.9%増の 23.99 億 MYR、営業利益は同 18.9%増の 4.32 億 MYR、純利益が同 10.6%増の 3.58 億 MYR となった。
- マレーシアのリゾート・ワールド・ゲンティンの新しいアトラクションなどが寄与し、来客数が幅広い顧客セグメントで増加した。
- 引き続き GITP の遂行に注力。2018/12 期には、世界初の 20 世紀フォックスをテーマにしたテーマパークの開園を計画している。

What is the news?

2018/12 期 1Q（1-3 月）は、売上高が前年同期比 7.9%増の 23.99 億 MYR、営業利益は同 18.9%増の 4.32 億 MYR、純利益が同 10.6%増の 3.58 億 MYR となった。リゾート・ワールド・ゲンティンの新しいアトラクションなどが寄与し、来客数が幅広い顧客セグメントで増加した。また、米国・バハマでも費用適正化の取り組みにより、リゾーツ・ワールド・ビミニ（RW Bimini）での営業損失が縮小したことも増益に寄与した。

セグメント別の業績は以下の通り。レジャー＆ホテル事業の売上高が前年同期比 7.6%増の 23.58 億 MYR、調整後 EBITDA が同 13.0%増の 6.29 億 MYR。そのうち、主力のマレーシアは、売上高が同 18.9%増の 15.99 億 MYR、調整後 EBITDA が同 22.0%増の 5.33 億 MYR と牽引。リゾート・ワールド・ゲンティンの新しいアトラクションなどが寄与し来客数が伸びた。英国・エジプトは、売上高が同 11.7%減の 4.12 億 MYR、調整後 EBITDA が同 60.6%減の 3,060 万 MYR。全体の来客数が減少したほか、英国の富裕層向けカジノ収益が減少した。金融費用も重荷となった。米国・オマハは、売上高が同 9.1%減の 3.46 億 MYR、調整後 EBITDA は同 56.5%増の 6,480 万 MYR。マレーシアリンギットが米ドルに対して増価したことにより減収だが、費用適正化の取り組みによりリゾーツ・ワールド・ビミニ（RW Bimini）の営業損失が縮小したことで増益を確保。為替変動を除くベースでは同 3%の増収であった。不動産事業は、売上高が同 46.7%増の 2,890 万 MYR、調整後 EBITDA は同 2.1 倍の 1,990 万 MYR。投資・その他事業は、売上高が同 3.4%増の 1,230 万 MYR、調整後 EBITDA は▲4,130 万 MYR と前年同期の▲60 万 MYR から赤字幅拡大。

How do we view this?

同社は引き続き、2013/12 期からの 10 年計画であるゲンティン・インテグレイティッド・ツーリズム・プラン（GITP）の遂行に注力していく。2018/12 期には、世界初の 20 世紀フォックスをテーマとしたテーマパークの開園を計画している。また、新規にラグジュアリーホテルの建設も行う。2018/12 通期の市場予想は売上高が前期比 12.7%増の 105.02 億 MYR、当期利益は同 40.6%増の 16.30 億 MYR である。

業績推移 ※参考レート 1MYR=27.40円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高（百万MYR）	8,331	8,924	9,322	10,502	11,698
当期利益（百万MYR）	1,257	2,880	1,159	1,630	1,966
EPS（MYR）	0.22	0.51	0.20	0.28	0.34
PER（倍）	23.36	10.08	25.70	18.36	15.12
BPS（MYR）	3.37	3.50	3.41	3.53	3.72
PBR（倍）	1.53	1.47	1.51	1.46	1.38
配当（MYR）	0.06	0.09	0.09	0.12	0.13
配当利回り（%）	1.23	1.79	1.75	2.30	2.53

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（MYR）	0.12	（予想はBloomberg）
終値（MYR）	5.14	2018/7/25

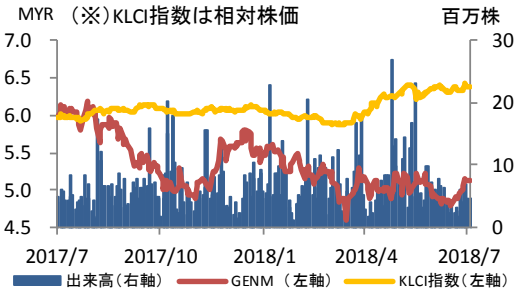
会社概要

1980年設立。ゲンティングループの企業で、統合型リゾートを世界的に展開している。マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン」やNY市の「リゾート・ワールド・カジノNY」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」や英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。 英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンに6拠点のほか、郊外の35拠点でカジノを運営している。また、マレーシアのランカウイ島やトレンガヌ州にはシーサイドリゾート施設を保有する。

同社は2013年より、リゾート・ワールド・ゲンティンの拡張のための10年計画「ゲンティン・インテグレーテッド・ツーリズム・プラン（GITP）」に取り組んでいる。ホテル、ケーブルカー、エンターテイメントコンプレックス、アウトレット モール、屋内テーマパークなどを新設し、カスタマー・エクスピリエンスを向上させている。

企業データ（2018/7/26）

ベータ値	1.23
時価総額（百万MYR）	28,962
企業価値=EV（百万MYR）	30,154
3ヵ月平均売買代金（百万MYR）	32.0



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2018/7） （%）

1.ゲンティン	49.43
2.JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	4.66
3.シンガポール政府投資公社	1.84

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト

増渕 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103ー0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101 URL：http：//www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。